

わたらしい生き方を選択するための「わた生きゼミ」2023 特別企画
「ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品等について

1 要旨・目的

「わたらしい生き方応援プランひろしま」に基づく取組として、エソール広島と連携して実施した「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」について、最優秀賞などの各賞を決定したため報告する。

2 現状・背景

令和3年度から、「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ事業」を実施し、男女双方の意識改革に向けた取組を進めている。

今年度は、「男だから」「女だから」といった性別による思い込みや決めつけで県民が感じた「もやもや」を川柳の形で募集するとともに、寄せられた作品を活用して効果的に発信することで、広く県民の気づきと共感につなげ、性別に関する固定観念の解消を目指すことを目的に、このコンテストを実施した。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容

ア 川柳募集

募集期間：9月14日（木）から10月15日（日）

応募総数：1,649 作品（応募者数 643 人）

イ 審査

一次審査：「広島県の男女共同参画をすすめる会」会員及び県内の大学生（4大学）の合計22名の審査員により入賞30作品を選定

一般投票：入賞30作品を対象に県民投票を実施し、県民共感度No.1賞を決定

二次審査：4名の審査員の合議により最優秀賞、優秀賞、審査員賞の5作品を決定

ウ 賞発表・授賞式

12月5日（火）13:00から、エソール広島において開催

エ 受賞作品

最優秀賞

ご飯まだ？ 帰った時刻 同じだよ

そら
(奏来 10代・女性)

審査ポイント：両親が同じ時刻に仕事から帰って来ても、父親は「ご飯まだ？」と聞き、母親は夕食を作るのが当然、といった家族間の性別による思い込みについて、子どもの視点でストレートにもやもやした思いを表現している。

優秀賞（2点）

色眼鏡 押し付けられて 押し付けた

（よもさん 70代・女性）

審査ポイント：自分が過去に社会や周囲から植え付けられていたジェンダーバイアスを、自らも誰かに押し付けてしまったことを省みた謙虚な作品で、同世代を生きた人なら特に共感するだろうという点に加え、社会風刺も含まれている。

「手伝うよ」じゃのおて一緒に やりますじゃ

（家事育児は当事者 30代・女性）

審査ポイント：「手伝うよ」とは言うが主体的に関わろうとしない夫へのもやもやを、広島弁を用いることで、怒っていながらどこか優しさやユーモアを感じさせるセンスのある作品になっている。

審査員賞（2点）

早帰宅 見送る上司の 子は3歳

（きのこ 40代・女性）

審査ポイント：ジェンダー平等というと女性活躍が取り上げられることが多いが、その裏で様々なことを我慢している男性上司の立場にも心を寄せ、男女が共に生きやすい世の中にならなければならないことを願う作品になっている。

理系です「女なのに？」は余計です

（進め理系女子 40代・女性）

審査ポイント：進路を決める時に周囲に言われた、女性の進路への決めつけに対する言葉へのもやとした気持ちを、韻を踏んでリズムカルに詠んでいる。

県民共感度 No.1 賞

※【最優秀賞】とのダブル受賞

ご飯まだ？ 帰った時刻 同じだよ

（^{そら}奏来 10代・女性）

投票者コメント：女性からは「共感した！」「我が家と同じ」という意見が多く、男性からは「悪気ない言葉だろうが同性としてハッとさせられた」「心当たりある」など自分の行動を省みる意見、その他、「ちゃんと見てくれている子どもがいるんだ、と、よき理解者を得たようで嬉しい」「子どもも家庭内の不平等に気づいてくれている、と若い世代に期待を感じた」といった感想が寄せられた。

(3) 予算

7,608 千円

(4) 検証結果

報道やSNS等を活用した広報により、応募作品数1,649句、一般投票数663票となったほか、募集から結果発表までの過程ごとにテレビや新聞で数多く取り上げられたことで、広く県民に情報発信ができた。

(5) 今後の対応

受賞作品のエピソードを再現したショート動画を作成し、来年1月から県公式TikTok、YouTube等で配信を開始するほか、包括連携協定企業等の協力による発信を行うとともに、川柳作品を活用したワークショップの開催などにより、社会全体の気づきや共感につなげ、県民の意識改革を図っていく。

4 その他

「ちいと もやもや ジェンダー川柳コンテスト」専用サイト

<http://www.gendersenryu.jp/>



〔授賞式の様子〕



〔入賞 30 作品〕 ※最優秀賞作品等を含む

取り分けて 女の子だから 得意でしょ	一条 みやこ	「手伝うよ」 じゃのおて一緒にやりますじゃ	家事育児は当事者
テント張り 男子汗だく 女子談笑	腕相撲無双女子	色眼鏡押し付けられて押し付けた	よもさん
「家族サービス」死語だと部下に諭される	まだまだな上司	カップル割同性だけど使えます？	ガリレオ
知らんがな あんたの飯なぞ 知らんがな	冷えピタおでこに ガダブル母さん	男なら 早く着替えろ 教室で	高橋 是清
こっち見て 契約するのは 私なの	ミク	休むのは いつも母です パートです	白藤 多々良
「男並み～」男性上司に 褒められて	園 えみり	私だけ 仕事と育児 二刀流	ホームオール ラウンダー
保護者名 ママじゃダメなの 子に聞かれ	竹内 照美	ご飯まだ？ 帰った時刻 同じだよ	奏来
参観日 旦那が行けば もうイクメン	共働き夫婦 (もやっど共存中)	育休を 取らない父親 いくじなし	育休取得推進委員
上を出せ 言われた私が 責任者	来華	「いいパパね」隣に「いいママ」いますけど	nino
ジジババよ 孫にらしさを 求めるな	さくら	ランドセル「おれはピンク！」 悩む親	息子はカワイイモノ が好きなんです
早帰宅 見送る上司の 子は3歳	きのこ	育児書の 主語はなぜか 「ママ」ばかり	ゆころ
「主人」から 「夫」と呼び方 変えてみる	平野 善	理系です 「女なのに？」は 余計です	進め理系女子
スママセン看護師ですが男です	橋本 転児	身内には ゲイなどいない 祖母は言う	ベンベン草
デート代論争論破して一人	壊れた冷蔵庫	ジェンダーを意識しすぎて喋デンジャー	まー
「迎え要」 上司が阻む 「奥さんは？」	エンドウ	聞き飽きた 「女の子じゃけえ」 この台詞	石田 千里